

## 大阪府岸和田市

### 岸和田市とアドベンチャーワールドが創る

### 未来の Smile とは



#### 【活動の基本情報】

参加学生数：8名（1年生：5名、2年生：2名、3年生：1名）

活動期間：2021年5月～2023年1月

担当教員：竹林浩志

#### 1. 活動実施の経緯

岸和田市の丘陵地区に位置する「ゆめみヶ丘岸和田」では、都市・農・自然が融合した新しいまちづくりが進められている。その中で岸和田市とアドベンチャーワールドとの間で「SDGs パートナシップ協定」を締結し、さまざまな取り組みを展開していく予定である。現在は「パンダとともに未来を創るプロジェクト」と題して、ゆめみヶ丘岸和田の広大な放置竹林から竹の枝葉をパンダの飼料として提供し、残った竹幹部分を加工して竹の工芸品等、里山再生と資源循環を促す取り組み等を開始している。

2022年度は、地域資源を用いた観光PRや、ゆめみヶ丘岸和田に立ち寄ってアドベンチャーワールドに行くような観光コースの発掘等、地域の活動に参加しながら具体的な商品を考えることを目的にして活動をはじめた。

#### 2. 活動の内容

昨年度の活動で得た知見をベースに、アドベンチャーワールドのファンを岸和田に呼び込むツアーの作成や、岸和田の竹を利用した商品の開発など、より具体的なプランを提案することを目標に活動を行うこととした。

#### 3. 活動を通じて

昨年度とメンバーが大幅に変わったため、地域のイベントや取り組みにも参加しながら、地域における課題や秘めた可能性を見出し、アドベンチャーワールドの現在の課題や今後の展望等を理解し、どのような連携ができるのかを検討することを考えていたが、今年度はアドベンチャーワールドとタイミングが合わず実際に訪問することができなかつたため、その実情をより深くとらえることは難しかったが、限られた情報の中で学生たちは非常に頑張ったと理解している。また、実際の商品の作成の困難さを肌で理解してくれたものと考えている。

## 4. 成果ポスター



# 2022 年度 岸和田市ゆめみヶ丘 LPP



岸和田市ゆめみヶ丘 LPP では、放置竹林やアドベンチャーワールドのパンダの食べ残しにより  
使い道がなくなってしまう竹を有効活用し、人々が楽しみながら、SDGs に貢献する方法を追及している。  
今年度は、パンダに竹を提供している岸和田市ならではの観光的な価値をつくることを目的に、ツアー・商品企画に取り組んだ。

### ゆめみヶ丘岸和田

ゆめみヶ丘岸和田は岸和田市の丘陵地区に位置している。「人が元気で  
快適に生きがいを持って暮らせるまち」「活力があり地域を輝かせる産  
業があるまち」「地球と人にやさしい自然環境がある  
まち」の3つをコンセプトに、都市・農・自然が融合し  
た新しいまちづくりが進められている。



### ゆめみヶ丘岸和田とアドベンチャーワールド

岸和田市では竹の増えすぎによる環境・景観の悪化を防ぐため、2011 年から、ゆ  
めみヶ丘の竹林から切り出した竹をアドベンチャーワールドのパンダの食料として  
提供している。その後、2020 年には、パンダが食べ残した竹(パンダバンブー)を  
有効活用することによって竹を用いた循環型社会の実現を目標とした「SDGs パ  
ートナーシップ協定」を結んだ。

### 活動報告

- ミーティング: 岸和田市とアワーズを交え、それぞれの状況と今後の方針について話し合った。
- 視察: ゆめみヶ丘やその竹林を視察し、岸和田市とアドベンチャーワールドとの関わりや放置竹林の利用法に関する  
詳しい話を伺った。道の駅「愛彩ランド」や岸和田 SA などを訪れ、岸和田の特産物がどのように販売されているのかを  
学び、地域の人々とかかわりを通じてゆめみヶ丘にしかない良さを探求できた。
- アドプトフォレスト活動: アワーズの行っているアドプトフォレスト活動に参加した。竹の伐採見学や加工体験など貴重な経験ができた。

学生からの声:  
岸和田 SA では、岸和田市特有  
のお土産や、パンダに関連した商品が多く  
取り揃えられており、ツアーや商品を  
考えるうえで良い機会になりました。



### ツアー・商品企画

この LPP の活動目標に、「ゆめみヶ丘岸和田に立ち寄ってアドベンチャーワールドに行くような観光コースの実現」や、「ゆめみヶ丘岸和田やアドベンチャーワールドなら  
ではの価値の創造」というものがある。そこで、私たちはゆめみヶ丘にアドベンチャーワールドのファンを観光客として呼び込むツアーの作成や、ゆめみヶ丘岸和田の竹を  
利用した商品製作を、ツアー班、商品班の 2 グループに分かれて取りかかるとした。  
なお、ニーズ調査や、アドベンチャーワールド側との話し合いはまだ行われていないため、試作段階である。

#### ● ツアー班

パンダオフ会 in ゆめみヶ丘岸和田(仮名)

ターゲット層: アドベンチャーワールドのパンダのファン。

概要: 日中は、ゆめみヶ丘岸和田で、実際にパンダの餌となる竹を伐採したり、それを用いて世界に 1 つだけの限定パンダグッズを作成したりする。岸和田市と株式会  
社アワーズの取り組みを知ってもらい、夕方から夜にかけて、会食を通じてパンダのファンどうしの交流会を行う。可能であれば、パンダの飼育員などアドベンチ  
ャーワールド側の方々にも参加してもらい、講演やパンダたちの小ネタを話してもらえればと思う。ここでは、岸和田市産の食品を用いることによって岸和田市を PR  
する。

#### ● 商品班

今回私たちが企画した商品は、「推しアニマルバンブーバスケース」だ。

この商品は、年 4 回以上アドベンチャーワールドを訪れる年間パスポート保持者をターゲットにしており、推しのパンダ、動物達のモチーフや姿をあしらった竹製のバス  
ケースである。他のテーマパーク好きや、動物園好きの間で、年パスを保管するケースが人気である事に着目し、好きな動物のグッズを買い、いわゆる「推し活」ができ  
る商品にした。ツアー内でのイベントでは、この商品に追加でつけられるストラップを竹で作ってもらい、クラフトが簡単で手頃であれば、「竹ストラップ工作キット」の商  
品化も考えられる。

## 合同報告会 当日の様子

大阪府岸和田市ゆめみヶ丘

テーマ：岸和田市とアドベンチャーワールドが創る未来の Smile とは

発表では、作成したポスターに沿って、活動背景（岸和田市の放置竹林の問題やアドベンチャーワールドとの関係性）や、ゆめみヶ丘で行ったアドプトフォレスト活動などのフィールドワークについて、一年間の成果（企画したツアー・商品について）を報告しました。コメントシートでは「岸和田市とパンダに関係があることを初めて知った」という意見が多くあり、多くの方に岸和田



市とアドベンチャーワールドの関係性や、岸和田市の観光的価値を理解いただけただけなのではないかと感じます。当日は市役所の川崎様もお越しくださり、お褒めの言葉をいただきました。以下、コメントシートへの回答を掲載します。

Q. 「パンダの食べ残しの竹を活用するという観点がおもしろかったです。この竹を商品化するに当たって、衛生面や強度に関して問題がないのか気になりました。」

A. 竹は商品や加工体験に使用する前に洗浄・乾燥させ、汚れや油分を落とすことを想定しています。また、竹は丈夫で（天然の抗菌成分が含まれるため）衛生的だといわれているため、カビ対策・紫外線対策などの適切な加工をすれば、他の素材に比べ、長持ちするのではないかと考えます。